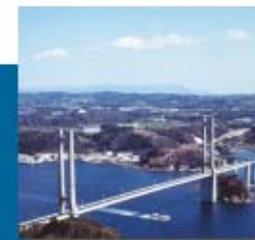




Globality Engineering Maker



— 平成21年3月期 —

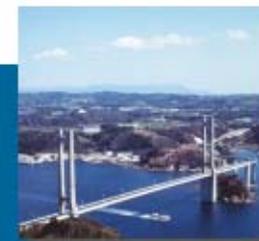
2008年 11月 28日

# 第2四半期決算説明会

株式会社 エスイー



Globality Engineering Maker



- I. 平成21年3月期第2四半期 財務諸表
- II. 平成21年3月期通期 予測損益(連結)
- III. 平成21年3月期第2四半期事業報告
- IV. SECグループの中期経営戦略



Globality Engineering Maker



# I . 平成21年3月期第2四半期 財務諸表

1. 損益計算書(連結)
2. 分野別売上高・粗利益(連結)
3. 貸借対照表(連結)
4. キャッシュ・フロー計算書(連結)

# 1. 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	平成20.3期 第2四半期累計 実績	平成21.3期 第2四半期累計 実績	前年同期比	
売上高	4,562	4,886	323	7.1%
営業利益	△68	△102	△33	△48.9%
経常利益	△38	△70	△31	△80.2%
四半期純利益	△33	△7	25	77.4%
一株当たり四半期純利益	△4円33銭	△0円98銭	3円35銭	

- 売上高

環境・防災事業は『落橋防止装置』の不振を『アンカー』及び『KIT受圧板』の好調でカバーし、前年同期比1%増のほぼ前年並。  
橋梁構造事業は斜材架設工事による『橋梁F型』及び『橋梁FUT-H型』の販売が順調であったことにより、前年同期比22.2%の大幅増加。
- 営業利益

鋼材や原油価格高騰の影響及び棚卸資産の評価減がコストプッシュの要因。
- 四半期純利益

持分法適用会社『コアエスイー』が韓国KOSDAQ市場に上場し、持分変動利益(特別利益)が発生。

## 2. 分野別売上高・粗利益(連結)

区 分		平成20.3期 第2四半期累計		平成21.3期 第2四半期累計		増減率
		百万円	構成比	百万円	構成比	
環境・防災 事業	売上	3,382	74.1%	3,417	69.9%	1.0%
	粗利益	1,005		1,016		1.1%
	利益率	(29.7%)		(29.7%)		(0.0)
橋梁構造 事業	売上	1,099	24.1%	1,342	27.5%	22.2%
	粗利益	215		206		△4.2%
	利益率	(19.6%)		(15.4%)		(△4.2)
バイオマス その他	売上	81	1.8%	126	2.6%	55.3%
	粗利益	37		37		0.4%
	利益率	(45.5%)		(29.4%)		(△16.1)
合 計	売上	4,562	100%	4,886	100%	7.1%
	粗利益	1,257		1,259		0.2%
	利益率	(27.6%)		(25.8%)		(△1.8)

### 3. 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	平成20.3期 第2四半期末	平成21.3期 第2四半期末	前年同期比
流動資産	7,733	7,816	83(1.1%)
固定資産	4,338	4,449	110(2.6%)
資産合計	12,071	12,266	194(1.6%)
流動負債	4,417	4,420	3(0.1%)
固定負債	2,090	2,154	64(3.1%)
負債合計	6,508	6,575	67(1.0%)
純資産合計	5,563	5,690	126(2.3%)
負債・純資産合計	12,071	12,266	194(1.6%)

- 自己資本比率 : 平成20年3月期第2四半期末 46.1%  
平成21年3月期第2四半期末 46.4%
- 一株当たり純資産 : 平成20年3月期第2四半期末 724円36銭  
平成21年3月期第2四半期末 740円75銭

## 4. キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

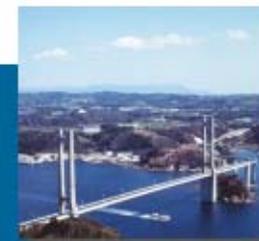
	平成20.3期 第2四半期累計	平成21.3期 第2四半期累計	前年同期比	
営業活動によるキャッシュ・フロー	349	533	183	52.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327	△214	112	34.4%
財務活動によるキャッシュ・フロー	305	290	△14	△4.9%
現金及び現金同等物 増減額	327	608	280	85.7%
現金及び現金同等物 期首残高	1,273	754	△519	△40.8%
現金及び現金同等物 四半期末残高	1,601	1,363	△238	△14.9%

### 【主な増減要因】 (平成21年3月期 第2四半期累計)

- 営業活動によるC/F: 売上債権の減少 1,824百万円 仕入債務の減少 △863百万円 など
- 投資活動によるC/F: 定期預金の預入れ △40百万円 有形固定資産の取得 △164百万円 など
- 財務活動によるC/F: 長期借入金 850百万円 長期借入金の返済 △313百万円  
社債償還 △92百万円 配当金支払 △153百万円 など



Globality Engineering Maker



## Ⅱ. 平成21年3月期通期 予測損益(連結)

# 通期予測損益(連結)

(単位:百万円)

	平成20.3期 通期 実績	平成21.3期 通期 予測	前年対比	
売上高	11,177	11,910	732	6.6%
営業利益	547	614	66	12.2%
経常利益	635	708	72	11.5%
当期純利益	385	437	52	13.6%

◆ 平成21年3月期 期末配当金 1株当たり 20円(予定)

■ 一株当たり当期純利益・配当金及び配当性向の推移(連結)

	平成16.3期	平成17.3期	平成18.3期	平成19.3期	平成20.3期	平成21.3期 (予想)
一株当たり 当期純利益(円)	30.22	△15.69	27.55	35.02	50.17	57.00
一株当たり 配当金(円)	15.00	15.00	15.00	※ 20.00	20.00	20.00
配当性向(%)	49.6	—	54.4	57.1	39.9	35.1

※ 平成19年3月期の配当金は記念配当5円を含む。 9



## Ⅲ. 平成21年3月期 第2四半期 事業報告

1. 環境・防災事業
  - ・アンカー市場
  - ・引張型アンカーの売上
  - ・落橋防止装置市場
2. 橋梁構造事業
  - ・大型斜張橋プロジェクト
3. 海外市場への進出
4. アンジェロセックの活動報告
5. バイオマス事業の活動報告

平成21年3月期  
第2四半期

# 1. 環境・防災事業

施工場所：三重県青山町



緑化前



緑化1ヶ月後



緑化3ヶ月後



緑化7ヶ月後

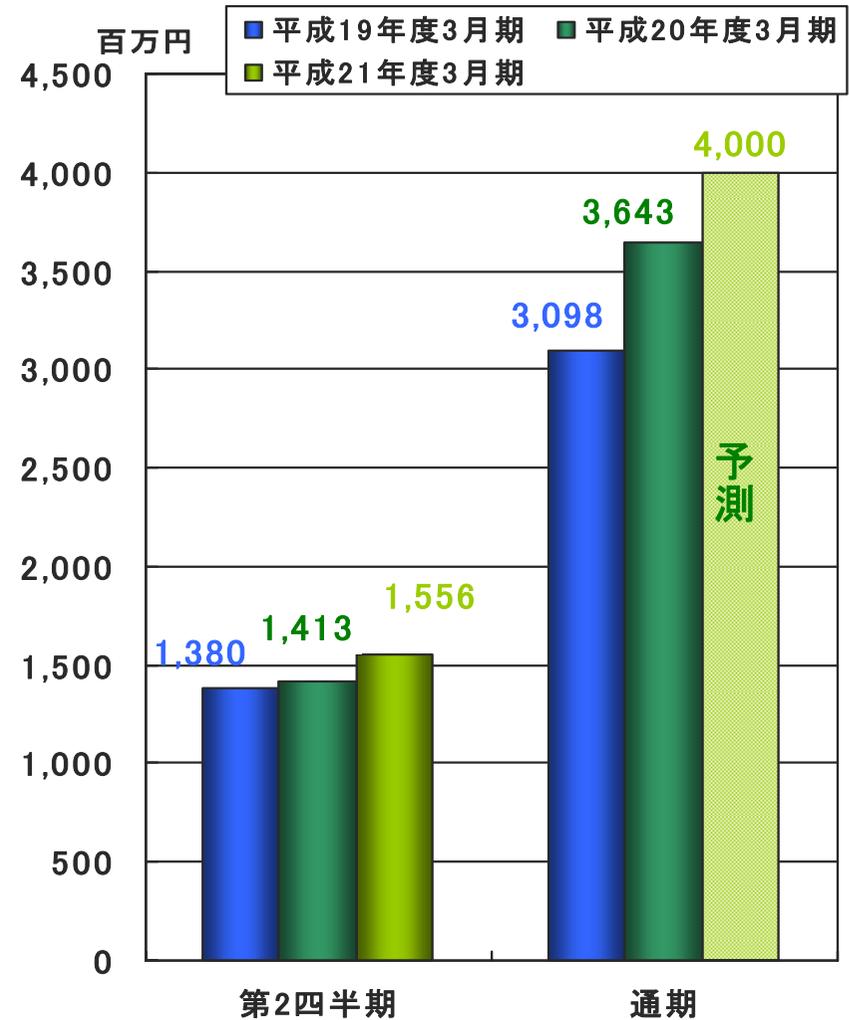


緑化1年後



緑化1年7ヶ月後

## アンカー、KITの売上予測と3期比較



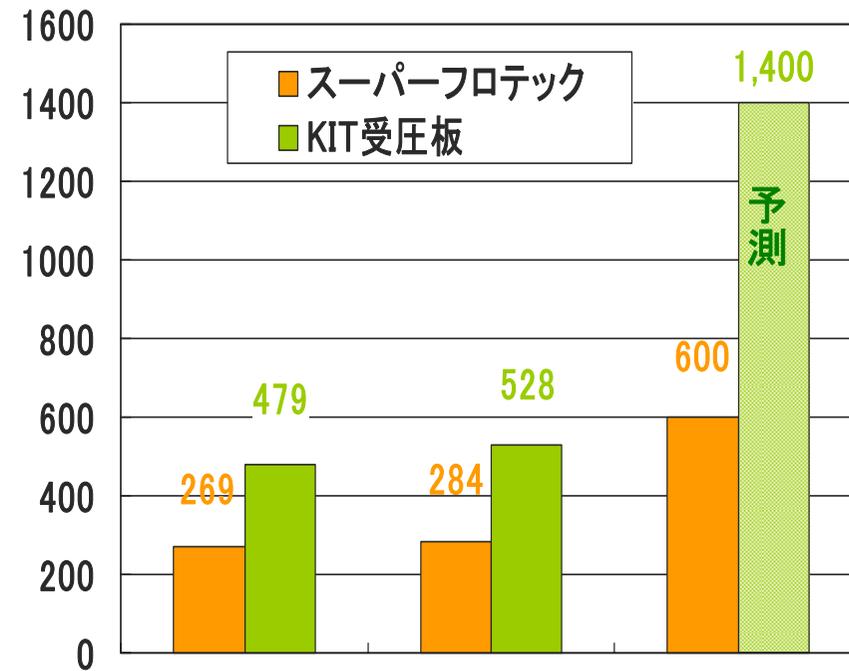
平成21年3月期  
第2四半期

# 1. 環境・防災事業

スーパーフロテックアンカーの販売がKIT受圧板の売上を大きく牽引する結果に！



(単位:百万円)



第2四半期:計画      第2四半期:実績      通期計画  
(単位:百万円)

	第2四半期:計画	第2四半期:実績	通期予測
スーパーフロテック	269	284	600
KIT受圧板	479	528	1,400

平成21年3月期  
第2四半期

# 1. 環境・防災事業

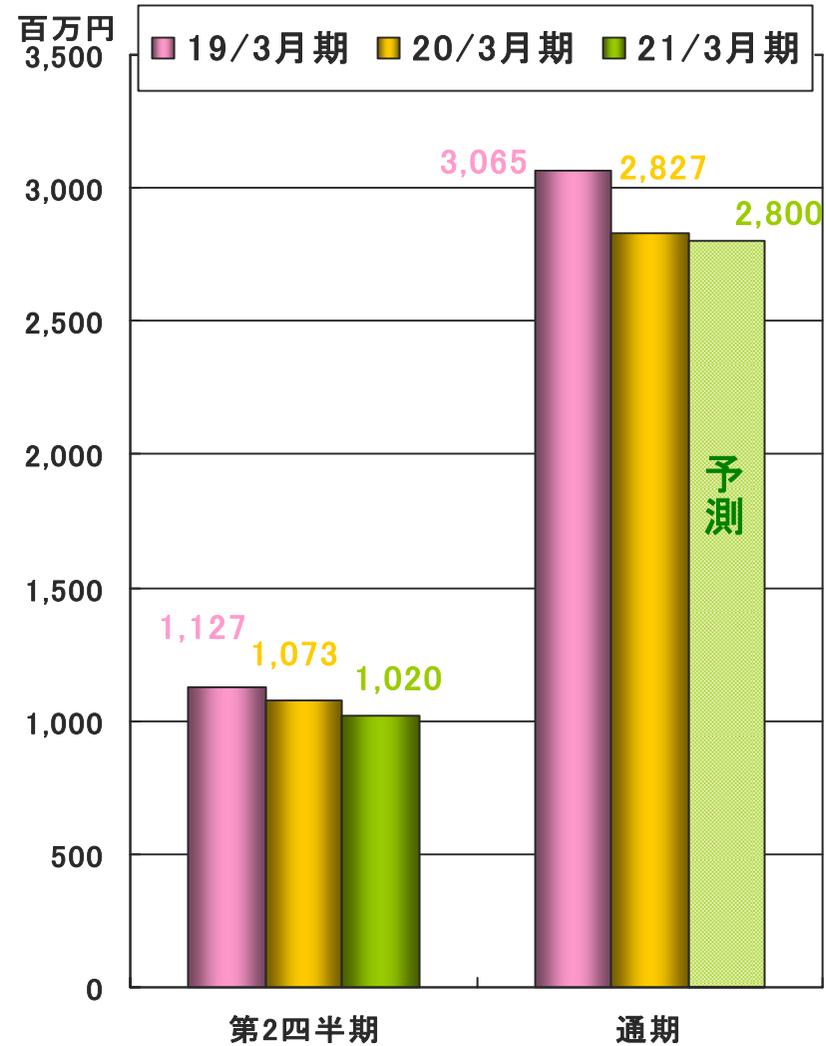


タイブリッジシステム



ユニバーサルシステム

## 落橋防止装置の売上予測と前期比較

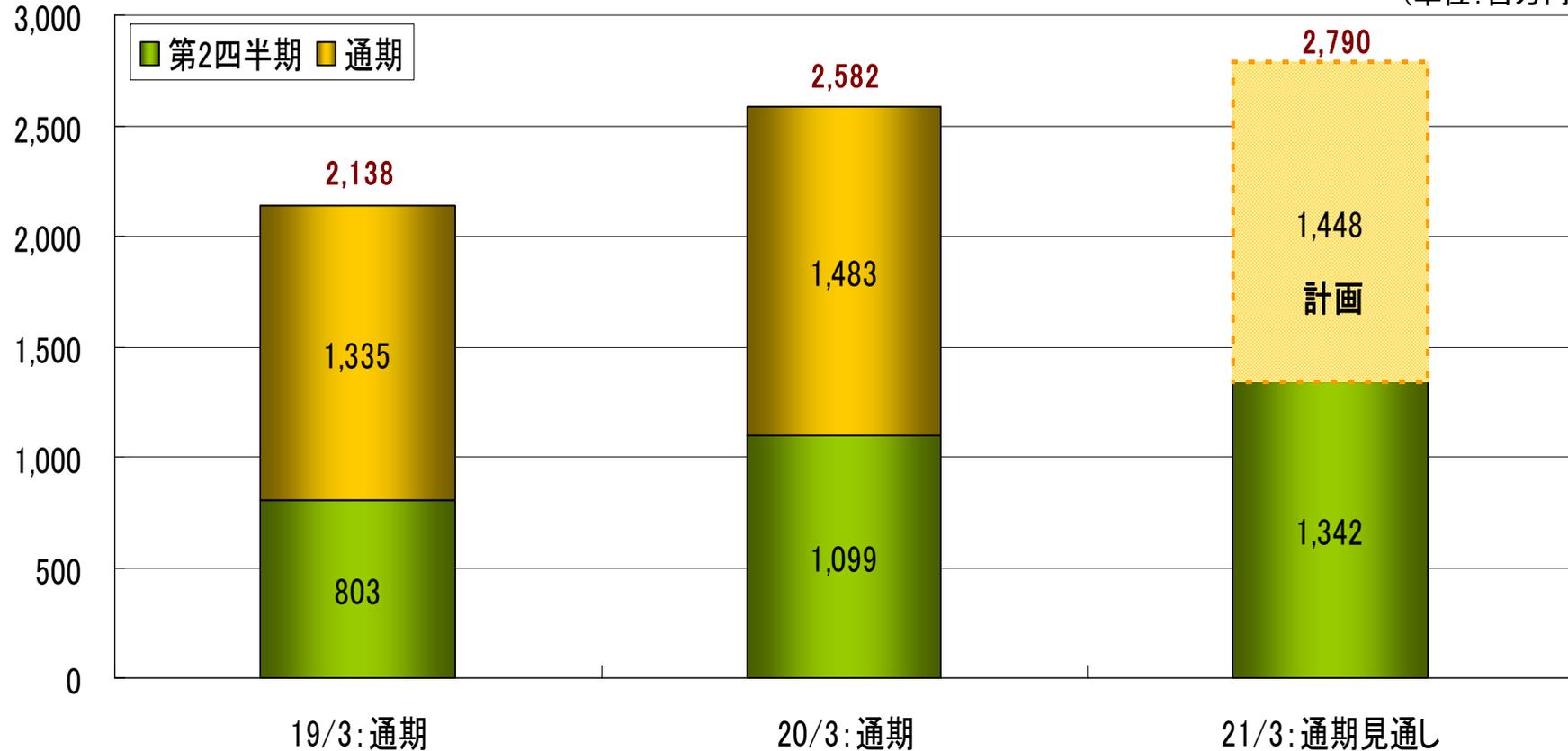


平成21年3月期  
第2四半期

## 2. 橋梁構造事業

### ◆ 橋梁構造事業の売上推移

(単位:百万円)



	19/3期: 第2四半期	19/3期: 通期	20/3期: 第2四半期	20/3期: 通期	21/3期: 第2四半期
売上高	803	2,138	1,099	2,582	1,342

(単位:百万円)

平成21年3月期  
第2四半期

## 2. 橋梁構造事業

## 大型斜張橋プロジェクト

### ■ FUT-H斜材の特徴：肥前鷹島大橋の現場より



①架設の作業状況

～大きなクレーン等特殊な機材は不要～



②架設の作業状況2

～ストランド一本づつ架設・緊張が可能～



③小型架設機材(最大重量2トン)

～何処へでも運搬が可能～



④小型緊張ジャッキ(約20キロ)

～持ち運びが容易～

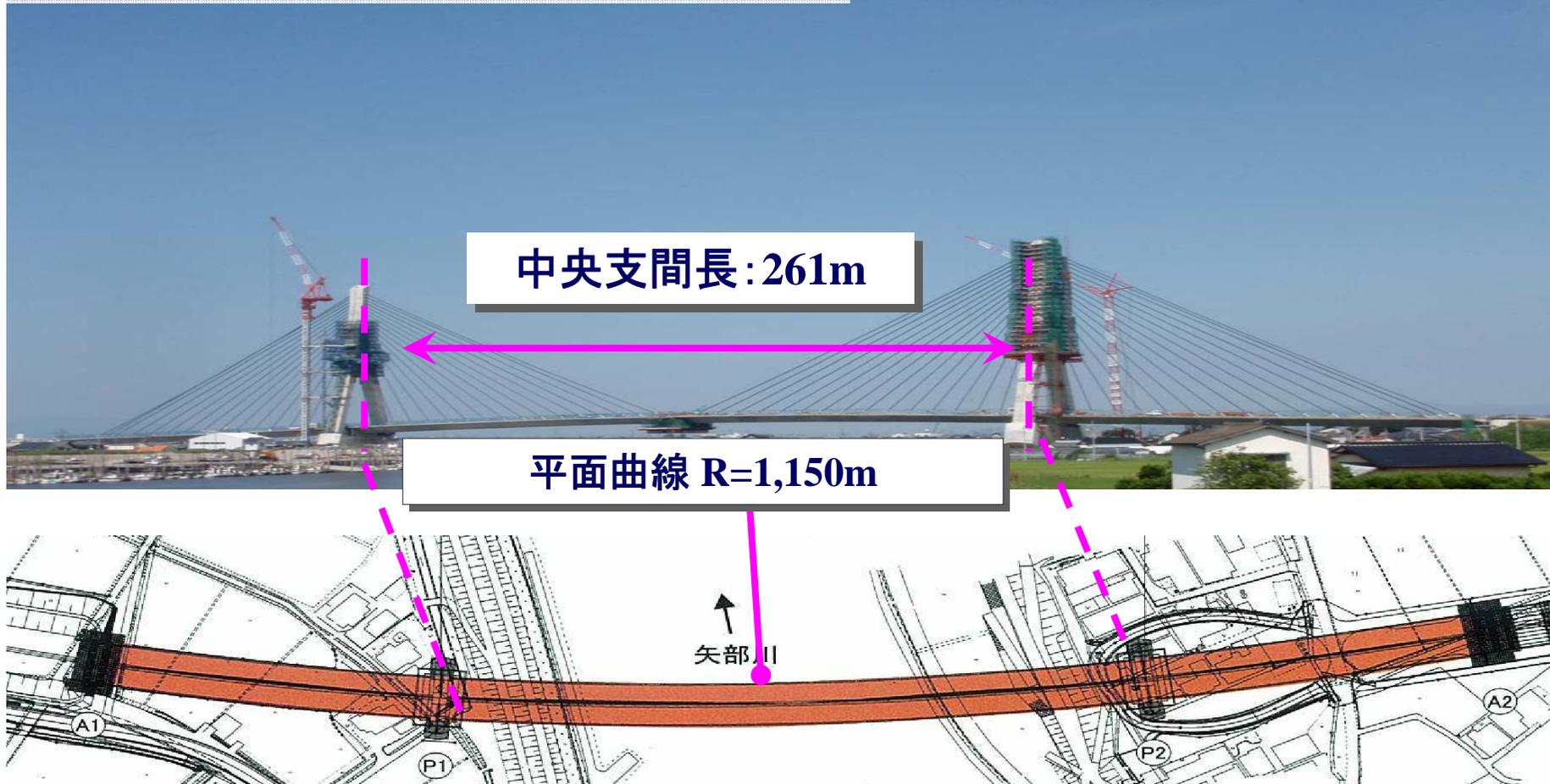
平成21年3月期  
第2四半期

## 2. 橋梁構造事業

## 大型斜張橋プロジェクト

### ■ 矢部川橋(福岡県)架設工事

2008年10月時点での斜材架設状況



中央支間長:261m

平面曲線 R=1,150m

矢部川

--PC曲線斜張橋では中央スパンが国内一番の大きさ--

平成21年3月期  
第2四半期

## 2. 橋梁構造事業 大型斜張橋プロジェクト

### ■ 鷹島肥前大橋(長崎県)架設工事

2007年11月より斜材架設開始(写真は2008年11月現在のもの)

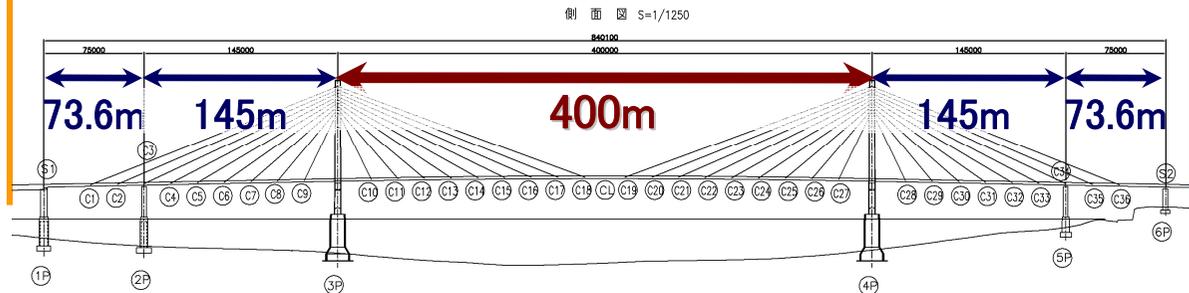


中央支間長: **400m**

鉄筋コンクリート、  
桁が鋼製の複合斜張橋

斜張橋では国内12番目の  
中央支間長(400m)

主塔は海上105mで  
国内6番目の高さ

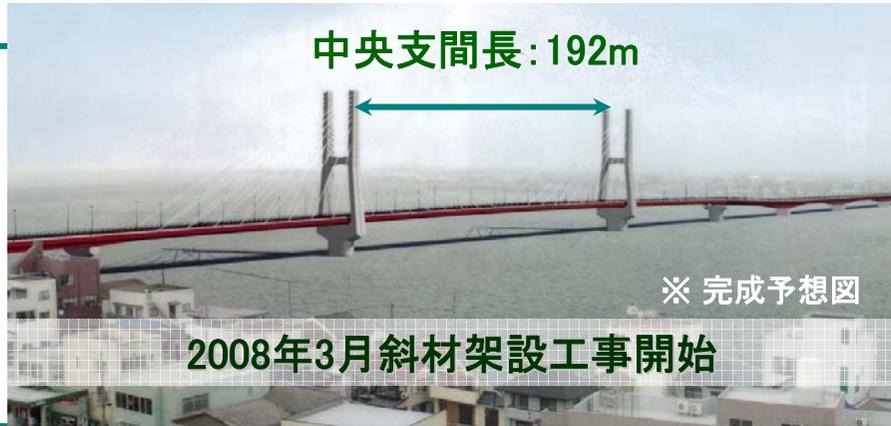


平成21年3月期  
第2四半期

## 2. 橋梁構造事業

### 大型斜張橋プロジェクト

#### ■ 銚子大橋(千葉県)架設工事



現橋が建設後40年以上を経過し、交通量の増大、塩害等の進行により安全確保が喫緊の課題でした。現在千葉県・茨城県が、地域の活性化と、人と車の安心、安全確保のために架け替え工事を行っております。



平成21年3月期  
 第2四半期

## 3. 海外市場への進出

当社の関係会社である、株式会社コリアエスイー(当社持株比率約24%)  
 2008年7月15日(火)に韓国KOSDAQ市場に上場。



K-SECの写真

合併会社の名前	KSEC (KOREA SECORPORATION)
市場	KOSDAQ
従業員数	46名
資本金	1,980,000,000 (Won)
当社持株比率	24.24%

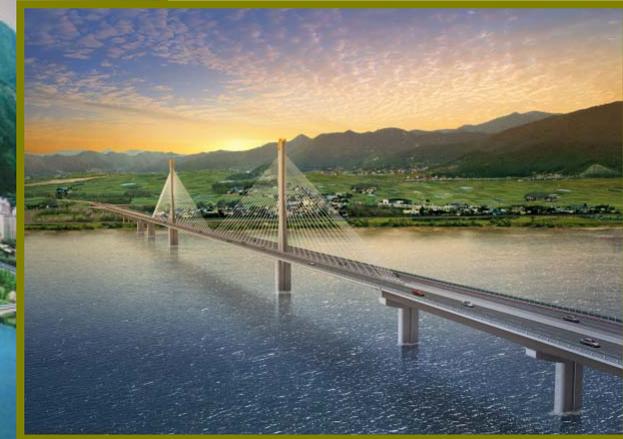
### ※今後の見通し

株式会社コリアエスイーにおいては、株式上場を迎え今後韓国市場におけるハードウェア部分を中心に当社と連携しつつ、事業の拡大を進めて参ります。昨年度K-SECの業績はエスイーグループの連結経常利益の15%を占めました。(20年3月期)今期も同程度の利益が期待できます。

平成21年3月期  
第2四半期

## 3. 海外市場への進出

韓国釜山: 華明大橋  
当社と韓国兌和 (TAI WHA) 及び、フランス・アンジェロップ社との合弁会社  
であるTISとの共業プロジェクトとして推進



※画像はイメージ図

2009年度4月より施工開始予定  
韓国現代⇔TIS 総額:5,450百万ウォン 2008年3月正式締結

平成21年3月期  
第2四半期

## 3. 海外市場への進出

ベトナムの建設土木の分野で権威ある大学Hanoi University of Civil Engineeringと昨年11月、合弁会社Vietnam Japan Engineering Consultants (VJEC)を設立し、ベトナム及びアセアン諸国のプロジェクトを獲得

### 目的

- 社会インフラ、交通インフラの早期整備が必要なベトナムの国土開発に貢献

### 業務内容

- 設計コンサルティング、ソフトエンジニアリング  
(鉄道・道路・橋梁・都市開発・工業団地・大学建設など)

### 基本戦略

- 政府レベルと川上で交渉し、ODAプロジェクトを獲得
- 政府機関にエンジニアを数多く輩出しているHUCEと提携し、プロジェクトの早期仕込みに努める

### 本年受注プロジェクト

- イエン・フォアン橋 (F/S)
- ハノイ・エイシャット・カタデル
- ドンパオ橋 詳細設計

(ベトナム・ローカル・プロジェクト)



2007年11月23日

平成21年3月期  
第2四半期

# 4. アンジェロセックの活動報告：国内

## 有明湾岸道路筑後川橋梁外予備設計業務

鋼構造・コンクリート 橋梁基礎(予備・概略)設計 道路

鋼構造・コンクリート 橋梁 調査・計画 道路

鋼構造・コンクリート 橋梁 企画 道路

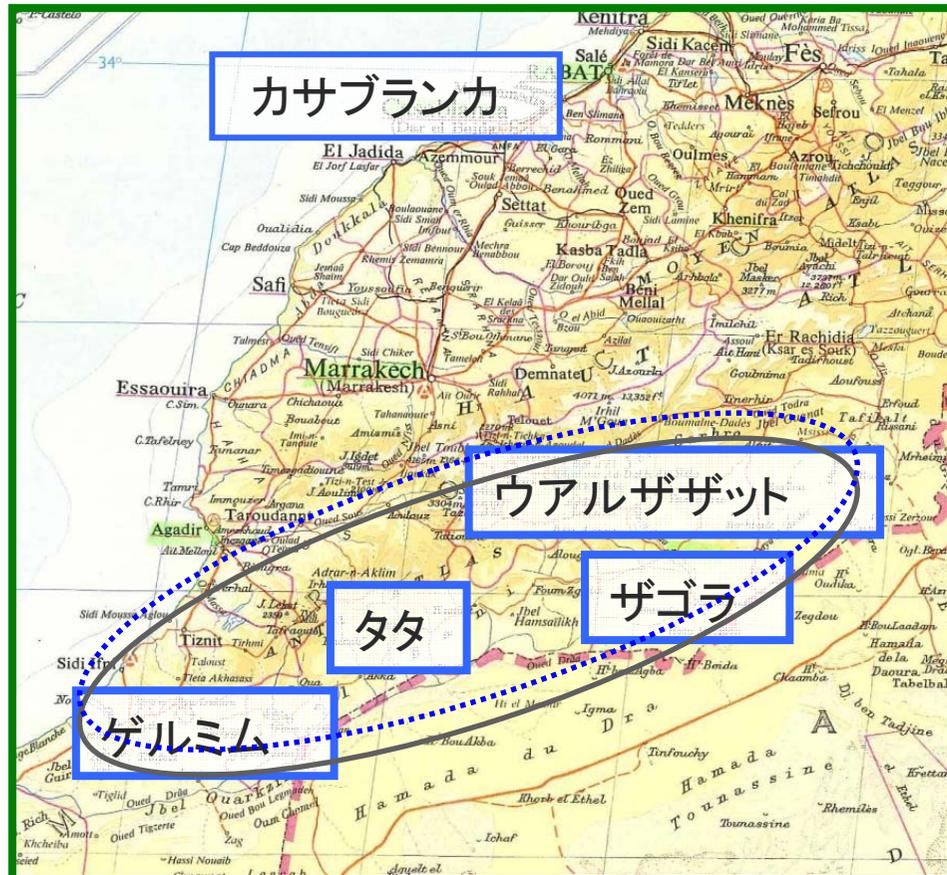


平成21年3月期  
第2四半期

# 4. アンジェロセックの活動報告：海外

## モロッコ王国南部地域水資源開発事業調査(JICA)

北アフリカモロッコ中央部に走るアトラス山脈以南の乾燥地帯における地方飲料水事業調査(実施中)



平成21年3月期  
第2四半期

## 4. アンジェロセックの活動報告：海外

### チュニジア国ビゼルテ運河調査業務(JETRO)

日本貿易振興機構の地球環境・プラント活性化事業等調査の一環として、渋滞緩和を目的とした新規道路案に対して橋梁渡河案の課題を提示すると共に、トンネル案に関するフィージビリティ・スタディを行った。



平成21年3月期  
第2四半期

# 5. バイオマス事業の活動報告1



減圧乾燥機



蒸気ジェット式乾燥機



高真空乾燥機

コアマシン

平成21年3月期  
第2四半期

# 5. バイオマス事業の活動報告2

社名	処理対象	視察・実験等
A社	樹脂汚泥	プラント視察、乾燥実験
B社	おから	プラント視察
C社	食品残渣(スーパー)	プラント視察、乾燥実験
D社	汚泥	乾燥実験
G社	食品残渣	プラント視察、装置レンタル
I社	有機残渣	プラント視察、乾燥実験



宇部衛生工業様のバイオマスプラント稼動の様子

平成21年3月期  
第2四半期

## 5. バイオマス事業の活動報告3

- 上期受注案件が下期に納品予定 『都吹株式会社様』

食品残渣減容・肥料化プラント

機器納入地：広島県

機種：減圧乾燥装置 SC1000

用途：食品廃棄物の減容化、肥料化の  
前処理

※ 2008年12月新工場に納品決定



減圧乾燥装置 SC1000



新工場図： 都吹株式会社様

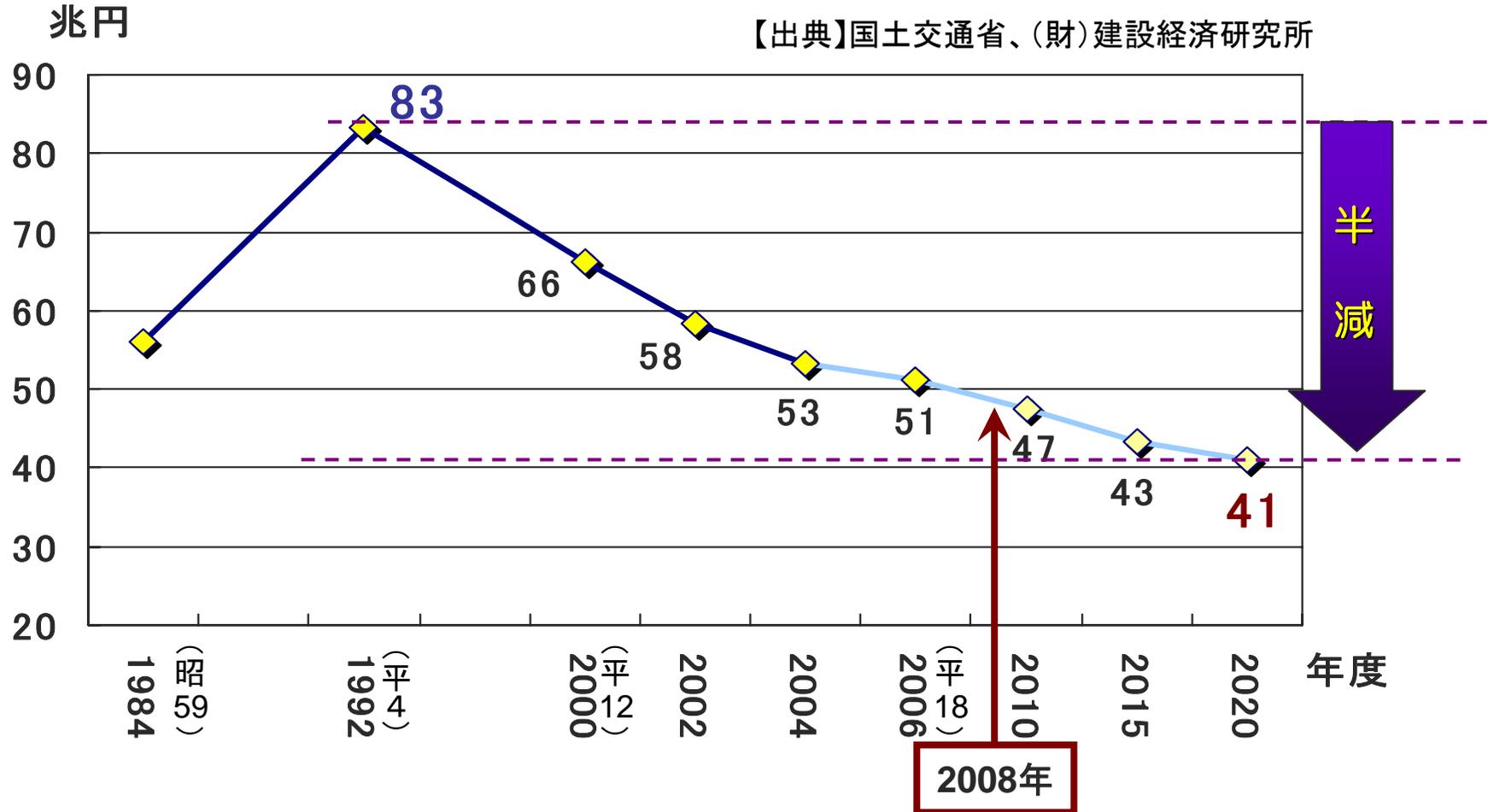


## IV. SECグループの今後の戦略

- SECグループを取巻く環境
- 既存事業の充実
- 海外市場の積極的開拓
- 成長戦略(グループ展開・人材開発)
- SECグループの企業像と位置づけ

# 建設市場の見通し

## 建設投資の推移



# 今年度の市場環境とグループの対策

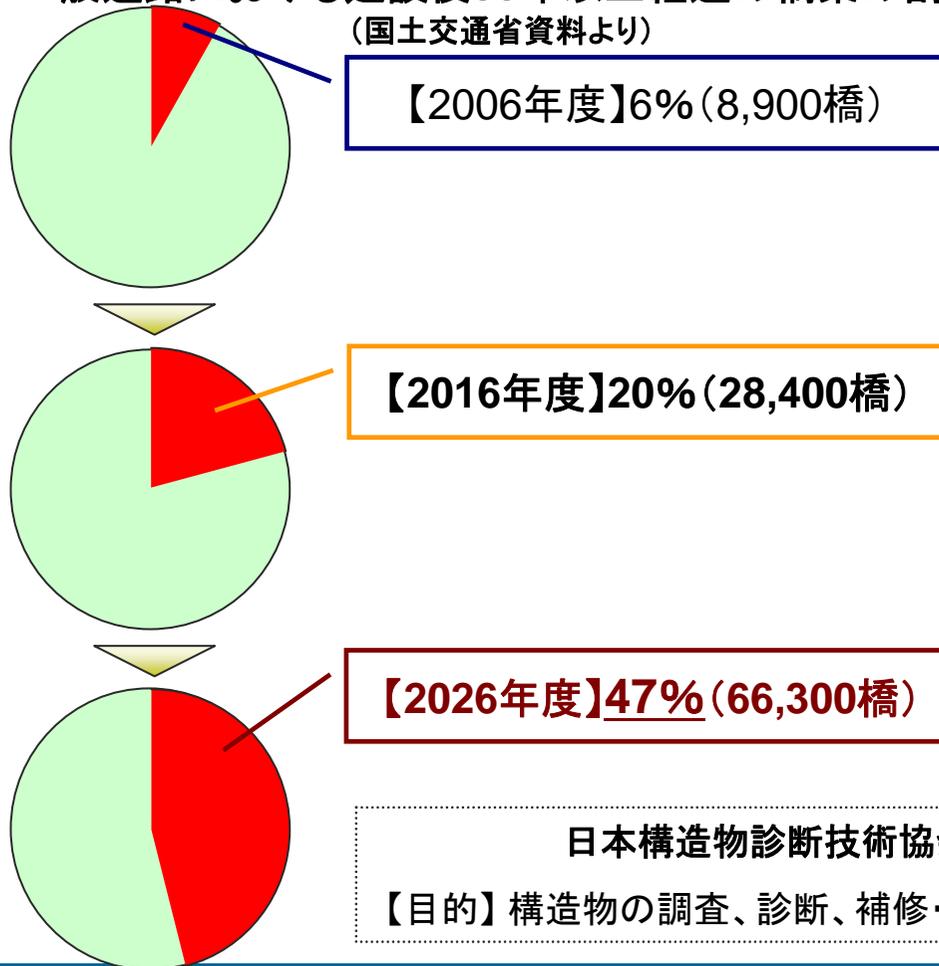
- 道路特定財源問題で今年度の予算の執行が遅れた。
- 下半期は、景気対策が進み、市場の良い変化に期待している。
- 橋梁に関しては新規建設から、診断及び補修・補強への移行期であり、当社の外ケーブルを中心とした既設橋への販売戦略を検討している。

# 補修・補強に対する現状

## 今後は補修・補強の必要性が増大

一般道路における建設後50年以上経過の橋梁の割合  
(国土交通省資料より)

※ 橋長15m以上の橋梁が対象(全国に約14万橋)



対応の遅れは大惨事を招く恐れ



ミネアポリスで発生した橋梁崩落事故  
2007年8月

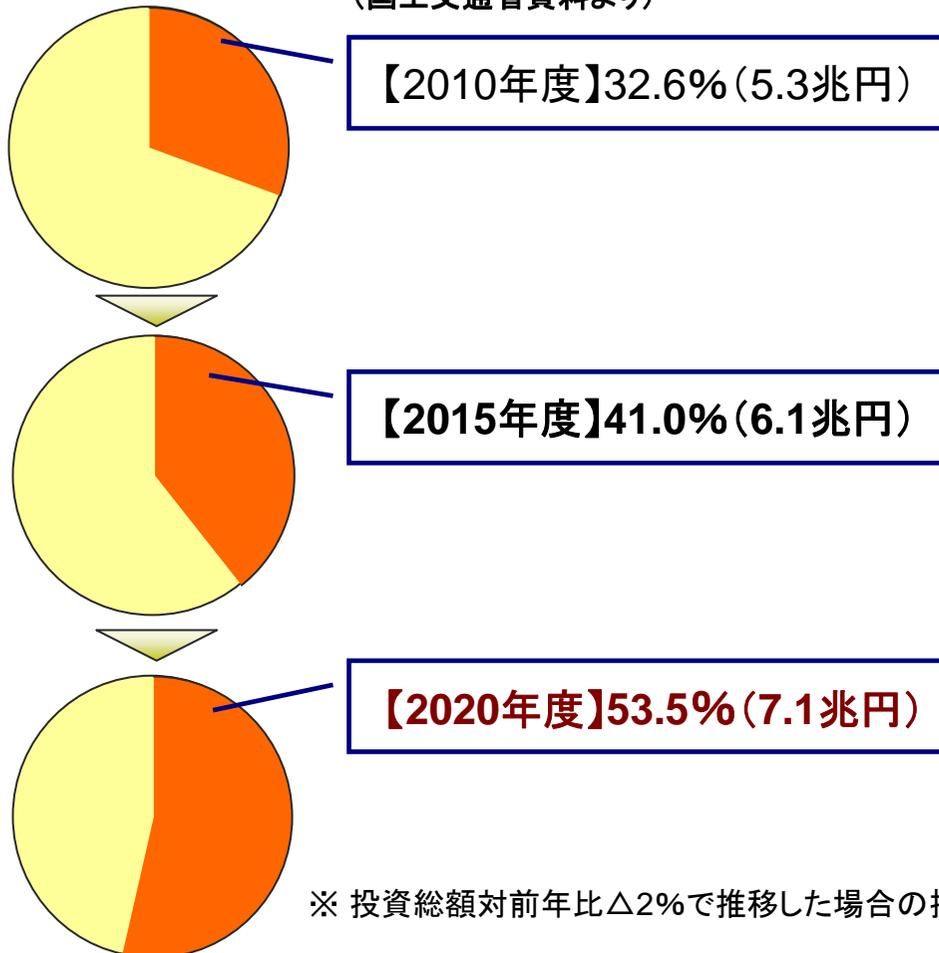
日本構造物診断技術協会 会長 森元 峯夫 1987年8月 設立

【目的】構造物の調査、診断、補修・補強技術の向上とその普及 加盟社数：67社

# 補修・補強に対する現状

**今後は補修・補強の必要性が増大**

投資総額に対する維持管理・更新投資の比率推計  
(国土交通省資料より)



※ 投資総額対前年比△2%で推移した場合の推計

外ケーブルによる橋梁の補強



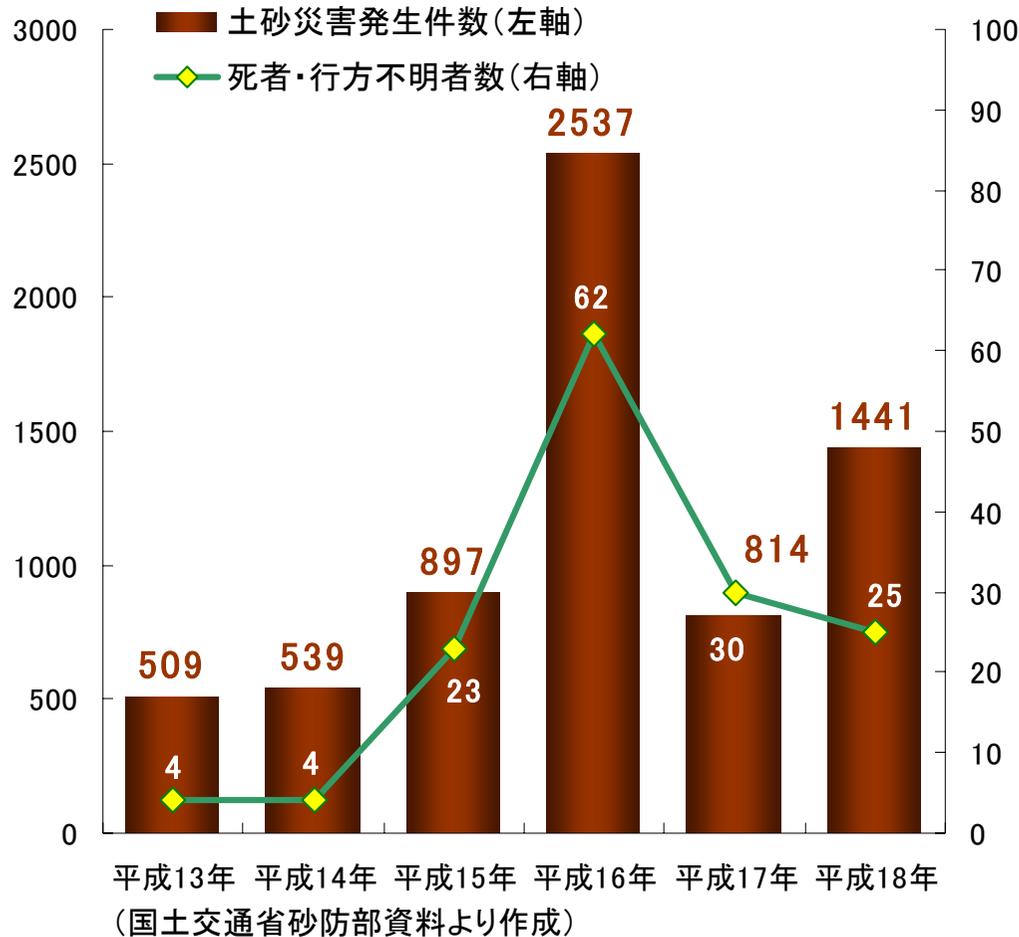
獅子が鼻大橋(新潟県)



小柳津高架橋(静岡県)

# 土砂災害対策の現状

土砂災害の発生件数と被害者数



## 全国の地すべり危険箇所

国土交通省所轄: 11,288箇所

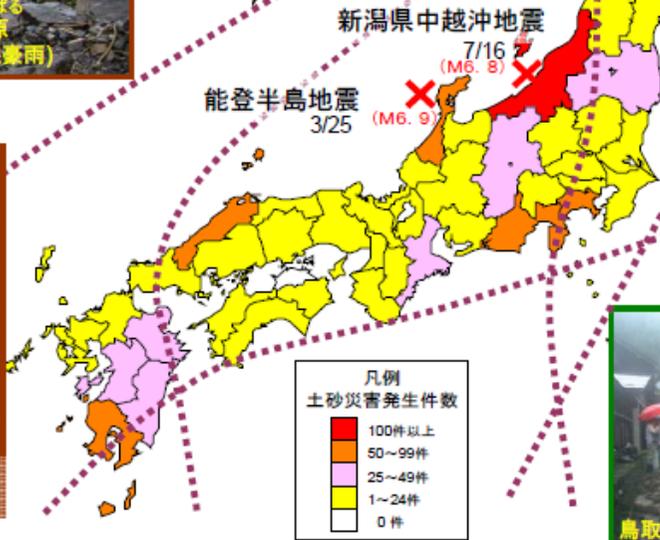
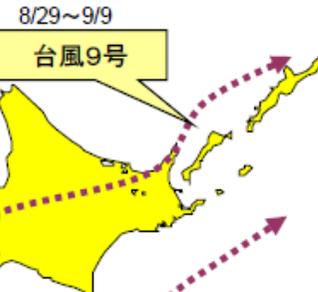
↓  
農林水産省、林野庁所轄含む  
20,000箇所超

(参考)「砂防便覧」、「河川便覧」

当社の事業領域である「災害対策」は不十分

# 平成19年の主な土砂災害

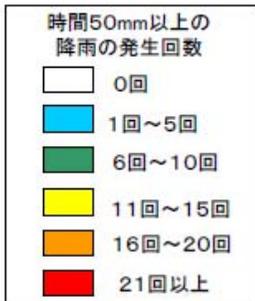
土砂災害件数  
**966件**(46都道府県)  
 (12/31現在)  
 (土石流 : 129件  
 がけ崩れ: 675件  
 地すべり: 162件)



全国における土砂災害発生件数と主な土砂災害(砂防部保全課調べ)

# 平成19年の主な水害

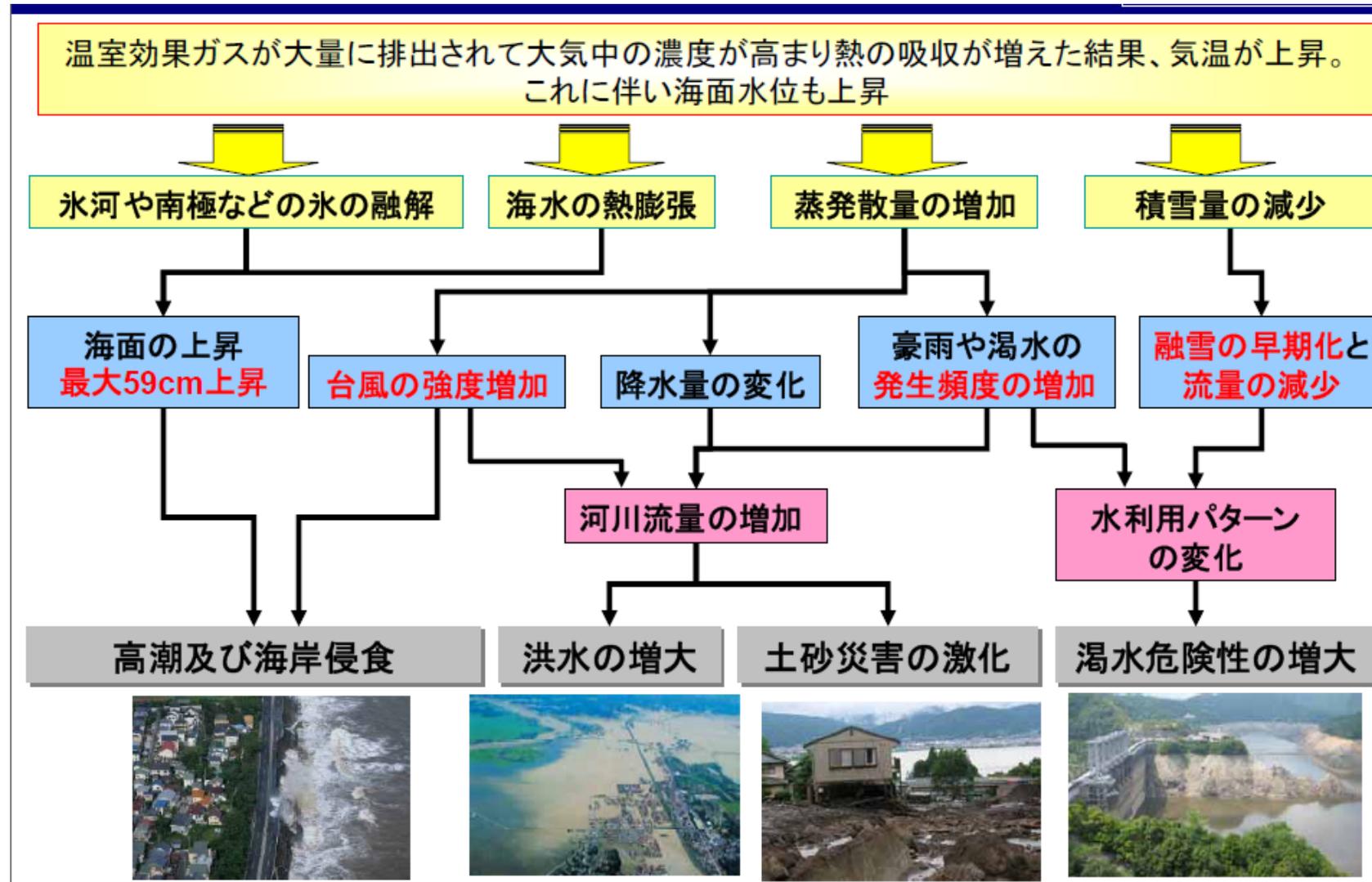
平成19年において時間50mm以上の  
降雨を観測した都道府県



雨量データは気象庁アメダス  
約1300地点より

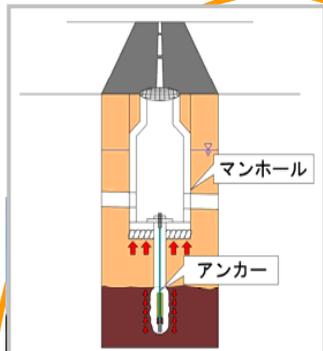


# 地球温暖化がもたらす脅威



# 既存事業の拡充(アンカーの用途拡大 1)

既存の技術を応用した新たな市場の開拓



マンホール浮き上り防止

対策必要箇所: 57,000箇所

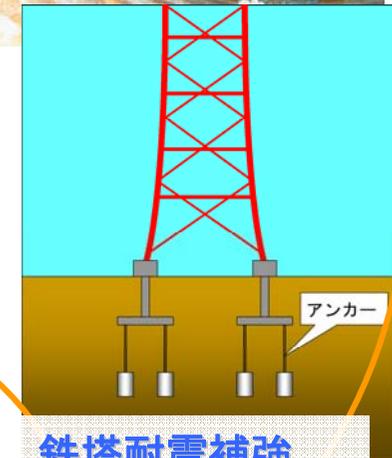


法面

既存造成地 13,000箇所  
(優先的実施箇所: 1,000箇所)



宅地造成地耐震補強



鉄塔耐震補強

# 既存事業の拡充(アンカーの用途拡大 2)

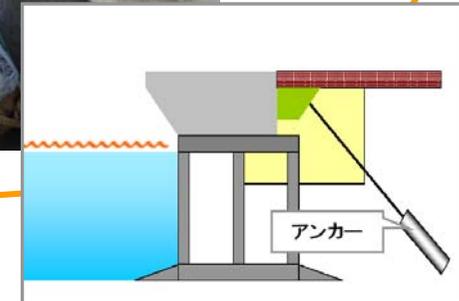
既存の技術を応用した新たな市場の開拓

港湾・漁港 耐震補強 -護岸工事-

現在の耐震化整備率  
(港湾)55% (漁港)10%



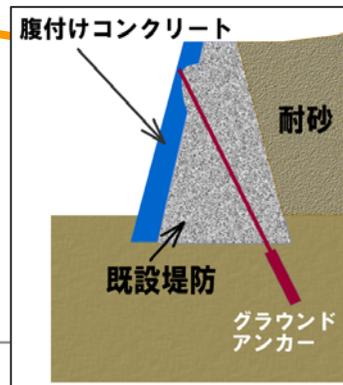
地すべり防止のアンカー(取付け作業中)



防砂ダム(えん堤)補強

<今後5年間の目標値>

○流木捕捉効果の高いえん堤の割合:30% → 60%  
(平成18年国土交通省目標)



# 海外市場の積極的開拓

## ベトナム国内の概要

- GDP規模・・・およそ日本の1/100  
(約500億USD)
- GDP成長率・・・年率約8%  
(鉱工業、建設業が高い伸び率)
- 社会インフラ・産業基盤の整備が課題
  - 自動車・オートバイの車輛は増加
  - 既存の鉄道、橋梁も老朽化が著しい

日本の製造業の急速な進出と各国企業の進出

社会インフラ整備の必要性、  
高速道路の建設が急務

産経新聞 2008年11月11日売号の記事

**ゼネコン海外進出後押し**  
官民協力来月にも検討委

官民が一体となりゼネコン(総合建設会社)の海外進出を支援する態勢を構築する。12月中にも有識者からなる検討委員会を立ち上げ、海外進出が遅れている理由や課題を整理し、来年6月ごろをめぐる受注増につなげるための指針をまとめる。また、国による支

援のあり方も検討し、情報提供体制の充実に必要な費用などについて国交省が平成22年度予算の概算要求に盛り込む方針だ。

公共事業の削減などで国内の建設投資がピーク時の6割にまで減るなど、ゼネコンをめぐる経営環境は厳しい。このため、中国など新興国を含めた海外での市場開拓は急務となっている。検討委員会で国交省やゼネコン大手の経営者、金融機関の関係者らが参加。建設業界の「国内が主」「海外が従」というこれまでのビジネスモデルをどう見直し、変わるかを検討していく。

# 海外市場の積極的開拓

## ベトナムでの活動状況

＜現在、アンジェロセック / VJECが入札参加、もしくはプロポーザル作成中のプロジェクト＞

2009年受注予定

### ★ 鉄道関連

ハノイーホーチミン線 橋梁架け替え施工監理[CS2]

ハノイ都市鉄道建設 詳細設計[HURC-001]

### ★ 南北高速道路関連

ホーチミン - ロン タンダウ ギア 施工監理

### ★ 建築関連

ナンダンプラザ 48階高層ビル

### ★ 橋梁関連

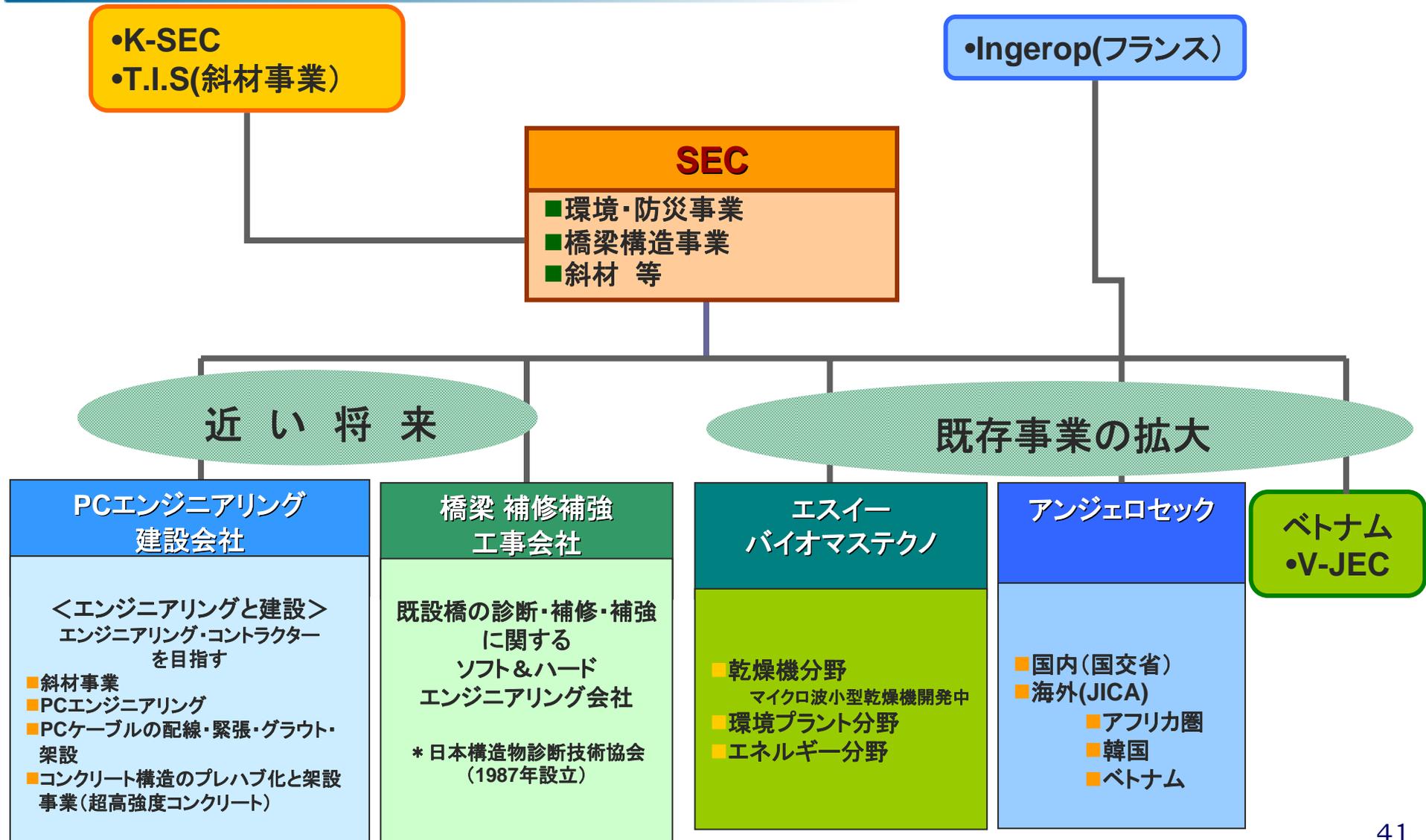
タンフォア省 マー川

クアンチ省 フェ市

### ★ 省開発のマスタープラン、都市開発、工業団地、大学建設関連

ベトナム北部を中心に、フランスIngerop社と共に各プロジェクトのプロポーザルを作成中。

# エスイー・グループの中期戦略（成長戦略の裏付 1）



## 人材戦略（成長戦略の裏付 2）

- 競争に打ち勝つ為
- 新製品・新技術の開発の為
- 海外市場での積極的な活動の為
- M&Aの積極的な活用の為

### 人材の充実は不可欠

国内外の卓越した人材の採用により、  
海外大型プロジェクトへの取組みを強化

#### ✦ 海外人材の登用

- ✦ フランス、韓国、ベトナム等から幅広く受入
- ✦ 海外の知識を技術開発に応用
- ✦ 海外事業の積極展開のため、国際市場からの人材の採用

#### ✦ 社外からの人材スカウト

- ✦ 社内で蓄積された技術と社外で積み上げられた経験と知識の融合により、新しい技術を開発

# SECグループの企業像と位置づけ

Stage 3  
(~H25)

SECグループの企業像  
売上200億円企業

- 建設産業と業際分野での世界的エンジニアリングメーカー

Stage 2  
(~H22)

中期目標  
売上150億円企業

- 既存製品 → 用途拡大(非法面、耐震補強分野)
- 大型斜張橋案件 → FUT-H現場架設工法で国内外の市場攻略
- エンジニアリング能力の発揮  
(アンジェロセックの強化等)により、グループ内で相乗効果を醸成(川上~川下までの受注獲得)
- バイオマステクノの売上拡大(10億円化)  
→ 取扱機械の広範化によるプラント提案力強化
- 海外戦略(ベトナム市場攻略、韓国他市場にも進出)
- M&A → 事業領域拡大

Stage 1

現在の姿

エンジニアリングメーカー

平成20.3月期売上111億円

- 環境防災事業(永久アンカー、KIT受圧板、落橋防止装置)
- 社会インフラ事業(大型斜張橋、パラレル構法)
- アンジェロセックによる国際設計市場参入
- エスイーバイオマステクノ(飼料化プラント設計、乾燥機販売)
- 売上100億円超グループ

## 将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。したがって、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

**Globality Engineering Maker**

 株式会社 エスイー